

令和8年第1回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和8年3月3日（火）・4日（水）午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
3月3日 (火)	1	齋藤俊夫	1 1期目の町政運営について	町長
	2	大和晴美	1 地域おこし協力隊について	町長
	3	菊地康彦	1 これからの子育てについて	町長
3月4日 (水)	4	岩佐孝子	1 魅力があふれみんなが来たくなり、住みたくなるまちづくり	町長 教育長
	5	遠藤龍之	1 就学援助制度の取組について 2 通学路等の安全確保について 3 介護保険事業の取り組みについて	町長 教育長

通告番号	1	10番 齋藤俊夫 議員
------	---	-------------

質問内容	答弁者
<p>1 1期目の町政運営について 町民の期待を一身に背負い、橋元丸が船出して早4年が経過しようとしている。この間の町政運営を振り返り、細目4点にわたり認識を伺う。</p> <p>(1) 志半ばとする町政の「結果責任」と「説明責任」について ア 政治は「結果責任」が全てである。必ず実現するとした公約の実現や、地区懇談会要望への取り組みが低迷する中で、結果責任をどのように捉え、どう果たそうとしているのか伺う。 イ 重大な事案ほど「説明責任」が求められる。計画が暗礁に乗り上げている「あぶくま消防本部の『統合消防庁舎建設』」の現状と今後の見通しを伺う。</p> <p>(2) 組織改編の意義と効果検証について 当面する諸課題解決に向けた組織改編から間もなく1年となるが、どのように総括しているのか伺う。</p> <p>(3) 低迷する「ふるさと納税」について 県内では、気仙沼市を先頭に「ふるさと納税」が増加する中で、ここ数年、本町が低迷している要因と対策に関する認識を伺う。</p> <p>(4) メガソーラー事業を巡る諸問題について 先に示された花笠地区で計画されている非農用地を活用したメガソーラー建設に関して、国の再生可能エネルギー政策の転換に伴う太陽光発電事業の位置づけの見直しや、確立されていない太陽光パネルの大量廃棄の最終処分問題、事業者の持続可能な経営等々、将来を見据えた事業計画のデメリットの認識と不安解消の対応策を伺う。</p>	町長

通告番号	2	12番 大和晴美議員
------	---	------------

質問内容	答弁者
<p>1 地域おこし協力隊について 本町では地域おこし協力隊が多岐にわたり活動しているが、活動内容が十分に町内外に届いているとは言い難い。このことから次の3点について伺う。</p> <p>(1) 移住促進や関係人口創出の観点から、活動内容の情報発信を強化する考えはないか。</p> <p>(2) 協力隊員が任期後も町内にとどまれるような住宅支援や起業支援の制度を拡充する考えはないか。</p> <p>(3) 協力隊の成果検証の仕組みと今後の組織的活用方針について。</p>	町長

通告番号	3	5番 菊地康彦議員
------	---	-----------

質問内容	答弁者
<p>1 これからの子育てについて 我が町の近年の年間出生数は激減している。しかし、少数でも子供たちを健やかで、元気な子どもに育てなければならず、そのためにも町の子育て施策は重要であり、預かる施設も大切な役割を担って行かなければならない。そこで、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 今後も町は現体制で子育て施策に臨むのか。</p> <p>(2) 保育園と幼稚園の役割は明確だが、子育ての観点から、そのすみ分けをどのように考えて行くのか。</p> <p>(3) 家庭で子育てをする方への支援等は考えているのか。</p>	町長

通告番号	4	11番 岩佐孝子 議員
------	---	-------------

質問内容	答弁者
<p>1 魅力があふれみんなが来たくなり、住みたくなるまちづくり 震災から15年が経過し、当町においては復旧から復興、そして再生へ向けた施策が着実に実施・展開されてきている。しかし、未だ課題が山積しているため、今後の取り組みなど次の5点について伺う。</p> <p>(1) 震災後から課題となっていた町道町戸花線（通称4番作道）の改良工事がようやく着地点を見出した。今後の工事計画の内容と完成時期の見通しについて。</p> <p>(2) 令和5年度に実施した地区懇談会の実績とその後の取組の実績、及び積み残しの今後の計画について。</p> <p>(3) 伝統ある坂元中学校、山下中学校は令和3年4月に再編され町内1校となり、廃校となった坂元中学校がようやく利活用され始めているが、校舎の2、3階部分や校庭などの利用が決まっていない部分の今後の利活用の見通しについて。</p> <p>(4) 「子育てするなら山元町」とし、子育て支援に関する環境整備をしてきていることに関し、今までの成果と今後の取組について。（待機児童対策、移住定住施策、給食費の無償化など）</p> <p>(5) 誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりのための実績と今後の取り組みについて</p> <p>ア 豪雨水害災害に関する対策（坂元地区の排水対策などのハード面）について。</p> <p>イ 町の防災・減災対策、児童生徒の防災意識の向上などについて。</p> <p>ウ 野生動物（クマ、イノシシ）などによる被害対策などについて。</p>	町長 教育長

通告番号	5	3番 遠藤龍之議員
------	---	-----------

質問内容	答弁者
<p>1 就学援助制度の取組について 長引く不況で町民の暮らしは大変。とりわけ、子育て世代に対してはこれまで多くの支援策が取り上げられているが、今の物価高騰の下では十分とは言えず、さらなる支援策の充実が求められている。次の点について伺う。</p> <p>(1) 就学援助制度の目的は。</p> <p>(2) 取組の現状は。</p>	教育長
<p>2 通学路等の安全確保について 2018年からの5年間で小学生の交通事故における死傷者数は2,185名、うち6割が歩行中のもの、特に1、2年生で7割以上を占めており、通学路などの対策強化が急務となっている。次の点について伺う。</p> <p>(1) 通学路の安全確保に向けた町の考えは。</p> <p>(2) これまで要望、指摘されてきた対策の取組状況は。ゾーン30、ゾーン30プラスの対応は。</p>	町長 教育長
<p>3 介護保険事業の取り組みについて 介護保険は今年、2000年4月の制度開始から26年を迎える。国民の期待を受けスタートした制度で、制度発足当初と比べると利用者数は3倍以上に増えており、大きな役割を果たしている。一方で、介護保険料の増大、この間の人材不足と事業所の撤退・廃業による提供体制の“崩壊”が叫ばれる事態となっている。次の点について伺う。</p> <p>(1) 介護保険事業の取り組みについて</p> <p>ア 介護保険事業に向けた地域課題、ニーズをどう捉えているか。</p> <p>イ 高齢者の一人暮らし、二人世帯の暮らしの現状をどうみているか。</p> <p>ウ 訪問介護事業の現状は。</p> <p>エ 要支援、要介護認定者の推移は。</p> <p>オ 介護保険サービスの利用状況は。</p> <p>(2) 介護保険法の見直しの対応について。 介護保険料の負担軽減は考えられないか。</p>	町長